

JIS

アルミニウム及びアルミニウム合金の 溶加棒及び溶接ワイヤ

JIS Z 3232 : 2009

(JLWA/JSA)

平成 21 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 田 隆 司	名古屋大学
(委員)	牛 尾 誠 夫	大阪大学名誉教授
	小 俣 和 夫	三井造船株式会社
	恩 澤 忠 男	東京工業大学名誉教授
	北 田 博 重	財団法人日本海事協会
	小見山 輝 彦	社団法人日本溶接協会
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	関 野 一 人	住友金属工業株式会社
	塚 本 進	独立行政法人物質・材料研究機構
	中 根 豊	株式会社ダイヘン
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	林 央	独立行政法人理化学研究所
	横 野 泰 和	非破壊検査株式会社
(専門委員)	野 原 慈 久	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 39.3.1 改正：平成 21.7.20

官 報 公 示：平成 21.7.21

原 案 作 成 者：社団法人軽金属溶接構造協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 3-37-23 由良ビル TEL 03-3863-5545)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：溶接技術専門委員会 (委員長 宮田 隆司)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 品質	3
5.1 化学成分	3
5.2 機械的性質	7
5.3 曲げ性能	7
5.4 外観	7
6 寸法及びその許容差	8
7 製品の状態	8
7.1 棒製品	8
7.2 ワイヤ製品	8
8 試験	11
8.1 分析試験	11
8.2 溶接継手の引張試験及び曲げ試験	11
9 検査及び再試験	14
10 包装	15
11 製品の呼び方	15
12 表示	15
12.1 製品の表示	15
12.2 包装の表示	16
13 検査証明書	16
附属書 JA (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	17
解 説	20

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人軽金属溶接構造協会(JLWA)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 3232:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

アルミニウム及びアルミニウム合金の溶加棒及び 溶接ワイヤ

Aluminium and aluminium alloy welding rods and wires

序文

この規格は、2004年に第1版として発行された **ISO 18273** を基に作成した日本工業規格であるが、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、ミグ溶接、ティグ溶接及び酸素－アセチレン溶接に使用するアルミニウム及びアルミニウム合金の溶加棒（以下、棒という。）及び溶接ワイヤ（以下、ワイヤという。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 18273:2004, Welding consumables – Wire electrodes, wires and rods for welding of aluminium and aluminium alloys – Classification (MOD)

なお、対応の程度を表す記号(MOD)は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、修正していることを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 0321 非鉄金属材料の検査通則

JIS H 1305 アルミニウム及びアルミニウム合金の発光分光分析方法

JIS H 1306 アルミニウム及びアルミニウム合金の原子吸光分析方法

JIS H 1307 アルミニウム及びアルミニウム合金の誘導結合プラズマ発光分光分析方法

JIS H 1352 アルミニウム及びアルミニウム合金中のけい素定量方法

JIS H 1353 アルミニウム及びアルミニウム合金中の鉄定量方法

JIS H 1354 アルミニウム及びアルミニウム合金中の銅定量方法

JIS H 1355 アルミニウム及びアルミニウム合金中のマンガン定量方法

JIS H 1356 アルミニウム及びアルミニウム合金中の亜鉛定量方法

JIS H 1357 アルミニウム及びアルミニウム合金中のマグネシウム定量方法

JIS H 1358 アルミニウム及びアルミニウム合金中のクロム定量方法

JIS H 1359 アルミニウム及びアルミニウム合金中のチタン定量方法